

講演会「農業系地域バイオマスの循環利用：脱炭素化への期待」

2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、地域で発生する種々のバイオマス廃棄物を地域内で有効活用するといった「地域循環共生圏の形成」が脱炭素化に寄与すると言われています。講演会では農業系地域バイオマスの循環利用が、地球温暖化の緩和や地域の発展にどのように役立つかを専門家にわかりやすく解説して頂きます。

[プログラム]

日時： 2月24日(火曜日) 14:30～17:10

場所： 岡山大学津島キャンパス環境理工棟2F 大会議室

備考： 参加無料・当日参加可

14:30～14:40

「講演会の趣旨」

前田守弘（岡山大学大学院環境生命自然科学研究科 教授）

14:40～15:40

「メタン発酵を活用した農業系地域バイオマスの循環利活用システム」

中村 真人（国立研究開発法人 農研機構 農村工学研究部門 上級研究員）

（講演50分、質疑応答10分）

15:40～16:40

「プロジェクトを社会実装につなげる方策」

柚山 義人（一般社団法人 日本有機資源協会 専務理事）

（講演50分、質疑応答10分）

16:40～17:10

パネルディスカッション（司会 前田守弘）

参加無料

- 参加を希望される方は、右のQRコードまたは下のURLよりお申込みください
<https://forms.gle/oRT2t12UKjaHzhLu7>
- 同じQRコードまたはURLより講演資料を事前にダウンロードしていただけます
- 事前にお申込みできなかった方の当日参加も歓迎いたします。



主催：

岡山大学カーボンニュートラル拠点形成支援事業

事業課題名：

「炭化を中心とした地域バイオマス廃棄物の循環利用によるカーボンニュートラルの実現～バイオマスユートピア構想」
(環境生命自然科学研究科・社会文化科学研究科)

連絡先： 前田 mun@cc.okayama-u.ac.jp